

「なつぞら」酪農に脚光

搾乳体験、施設見学も増加

十勝農業に「なつぞら」効果



「なつぞら」の雰囲気を感じながら農機具歴史館を見学する観光客

2019年の十勝で大きな話題になったのが、NHK連続テレビ小説「なつぞら」(4～9月)。十勝が舞台となり、酪農をはじめ農業や開拓の歴史が脚光を浴びた。農業関連施設の見学者が増えるなど効果が表れた。

幕別町忠類の「いふあーむ」では、小・中学生を対象にホームステイで酪農体験を実施している。泊まり込みで早朝から搾乳などを体験できる。

年間300～350人程度の受け入れだが、今年は9月までに400人以上が参加。同牧場は「将来、酪農家を目指している子どもたちが多い。なつぞら効果を感じている」と話す。

帯広市の広瀬牧場でも搾乳体験やアイスクリーム作り体験の引き合いが強まっている。地元利用に加えて今年は長野県からのツアーもあり、前年の約1.5倍。酪農の専門家としてドラマを監修した広瀬文彦代表の話聞きに来る人も多い。

ドラマで使用した農機具を展示している帯広市川西のとちかち農機具歴史館は前年の倍の1170人が来場。とちかち大平原交流センターや旧川原邸など一連の施設を合計すると、9月までに4倍以上の入り込みとなった。



多くの観光客が訪れたJR帯広駅内のとちかち物産センター

ドラマでは、よつ葉乳業がモデルとみられる乳業会社が登場し、管内の農業関係者の話題を集めた。農家資本による乳業会社設立のやりとりが描かれ、地元農協の決議や十勝支庁への新設届の提出シーンも流れた。当時を知る十勝地区農協組合長会長の有塚利宣さん(87)は「JA帯広かわにし組合長は「先達が苦労して築いた酪農王国の歴史が全国に発信された」と喜ぶ。

堅牢で
高効率の石礫除去機

ストーンピッカー

SST-1400AS型



サイドダンプ方式採用
ローアリンク2点 ケン引式

畑の生産性を
向上させる!!



圃場内の石礫の存在は、農業機械の使用に大きな負担となっています。農業機械各部の損傷・摩耗はもとより、収穫機使用の高効率作業が阻害され、また収穫物に石礫が混入したりと、生産性低減の大きな理由となっています。当社のストーンピッカーは石の多い土壌でも高性能の威力を発揮し、しかも耐久性に優れ、現在ご使用中の農家の皆様に好評を得ています。石礫と同時に野良芋の除去も出来るため、野良芋の発生を減らすことが出来ます。

堅牢で
高効率の石寄せ機

ストーンディガー

SD-1900



石寄せ機ストーンディガーは、ストーンピッカーの前作業機で、片道又は往復で一列に石礫を堆石させる機械です。その後を、ストーンピッカーで堆石した石礫を拾い上げるだけです。除礫作業を早く終わらせることができます。



畑の生産性を
向上させる!!



収穫し切れなかった野良芋の除去にも使えます。

ストーンピッカーの
専門メーカー

株式会社 イダ

〒090-0818 北海道北見市本町4丁目7
TEL.0157-23-4493 FAX.0157-23-4499